

6時
両津
6時
羽茂

佐渡

佐渡総局
〒952-0006
佐渡市春日 1143-9
0259(27)4811
FAX(27)2090
n-sado@niigata-nippo.co.jp

自然体で活性化を

学校蔵 養老孟司さんら授業

佐渡市西三川の旧西三川小学校を活用した酒蔵「学校蔵」で24日、佐渡と日本の未来について考える第9回「学校蔵の特別授業」が開かれた。東京大名誉教授で解剖学者の養老孟司さんらが、市内外から参加した約80人に向け、先入観や常識にとらわれない思考の大切さを語った。

住民らでつくる「佐渡地域力幸醸委員会」が主催。新型コロナウイルスの影響による中止やオンライン開催をはさみ、4年ぶりの現地開催となった。学校蔵は、

尾畑酒造(佐渡市真野新町)が2014年に開設した。日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さんは「思い込みで地域の魅力などを見過すケースがある」とし、違う考えの人同士が接して先入観に気付く必要性を強調。人口が増加するかどうかも、地域の雰囲気や楽観的か悲観的かによるところが大きいと指摘した。

養老さんは静かな語り口で「若い人は環境の中で力を発揮する。心配してない」と若者にエールを送り、地域活性化についても都会



佐渡と日本の未来について考えた学校蔵の特別授業＝24日、佐渡市西三川

の価値観に合わせず自然体の姿勢を求めた。伝統芸能の現状と課題を調査した高校生の発表もあった。

佐渡高校2年の瀧川啓太さん(16)は「さまざまな側面から佐渡のことを考えた、新しい見方を知ったりすることができた」と満足そうだった。